

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1280
施設名	上田せせらぎ保育園
施設所在地	東京都日野市上田488-2
法人名	社会福祉法人貴静会

1. 活動のテーマ

<テーマ> じしゃく

- ・くっつく素材を知る
- ・色々な形や図形を想像しながらつくる
- ・磁石の素材をつかい友だちと楽しみあそびを共有する。
- ・偶然できた形を喜ぶ

<テーマの設定理由>

- (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
- ・こどもたちのひらめきを大切にしている
 - ・偶然できた形から想像が膨らみ遊びが発展していく

2. 活動スケジュール

R6/11月 12月

R7/1月 2月 3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- (活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
- ・マグネットボードの設置
 - ・マグネットの玩具 (ピタゴラス、手作り玩具) クリエイティブキューブ
 - ・マグネットシートで○□△を作成

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・磁石を使い自由に組み合わせ、その時偶然にできた形を楽しむ。
- ・磁石と磁石がつく性質を遊びの中で発見する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・R6/11 無心でホワイトボード一面に貼っていった。保育者は見守っていた。
貼ることに夢中でできあがったホワイトボードを見てハッとしていた。
- ・R6/12 ピタゴラスが箱状になることに気づき繋げて電車などに見立てていた。保育者が球体になるように組み合わせると真似をして作ろうとしていた。
- ・R7/1 クリエイティブキューブでは皆で協力してベッドやソファ、電車など保育者が介入せず遊びが広がっていた。
- ・R7/2.3 マグネットシート、動物マグネットなども多用し色々な形をつくり発想をひろげていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・初めはブロックあそびの延長線であそぶ様子が見られたが、徐々に数人ずつ「くつつく」ことに気づき、「コレとコレはくつつく」と言い、組み合わせたあそびが広がった。マグネット板も活用し、壁一面に磁石を貼り、子どもの発想が広がった。また、磁石ブロックなども取り入れると遊びが立体的に広がるきっかけとなり、ピタゴラスでもイメージを膨らませながら友だちと関わる姿が見られた。(写真参照)